

3. コミッショナー運用マニュアル

■マンツーマンコミッショナーの配置と役割

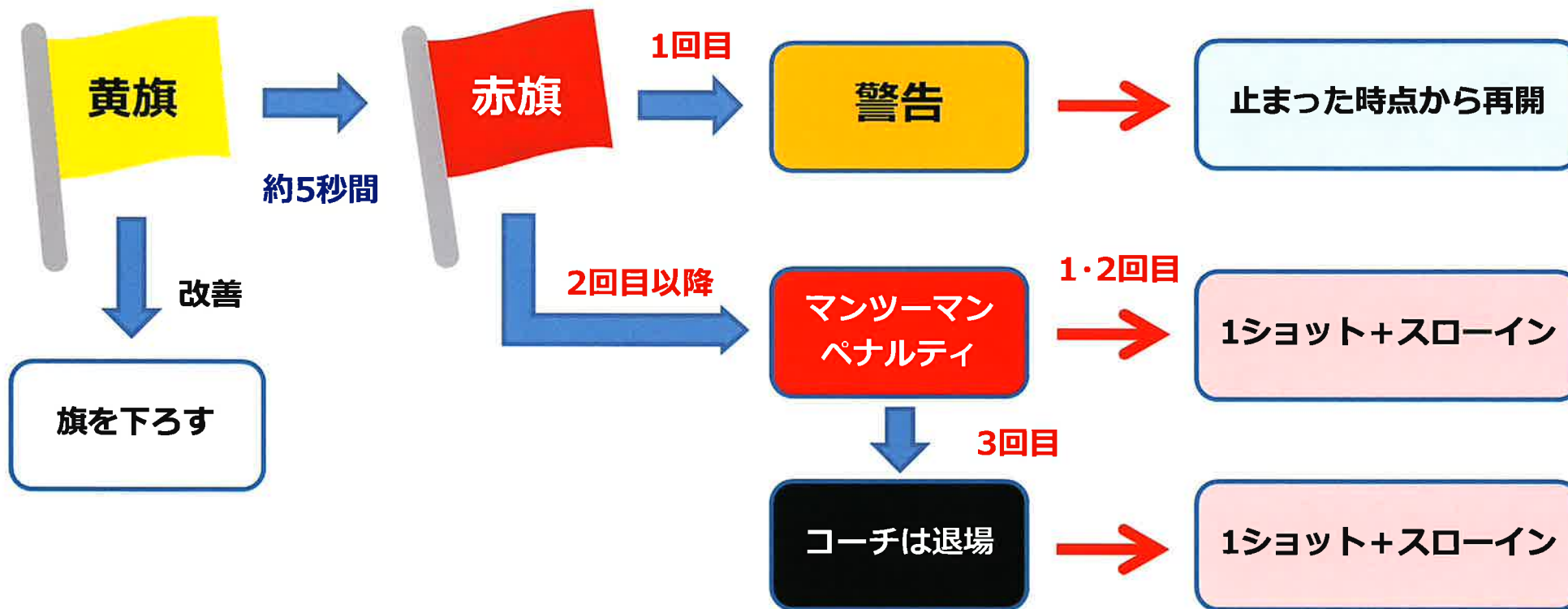
- ① 本大会は「マンツーマンディフェンスの基準規則」に基づいて実施されます。
- ② マンツーマンコミッショナーは各試合1名とし、TO席の後ろに配置します。(赤い腕章着用)
- ③ 判定はマンツーマンコミッショナーが行い、罰則の処置は審判が行います。

■マンツーマンディフェンスの基準規則による判定と処置の概要 *次ページ「フローチャート」を参照

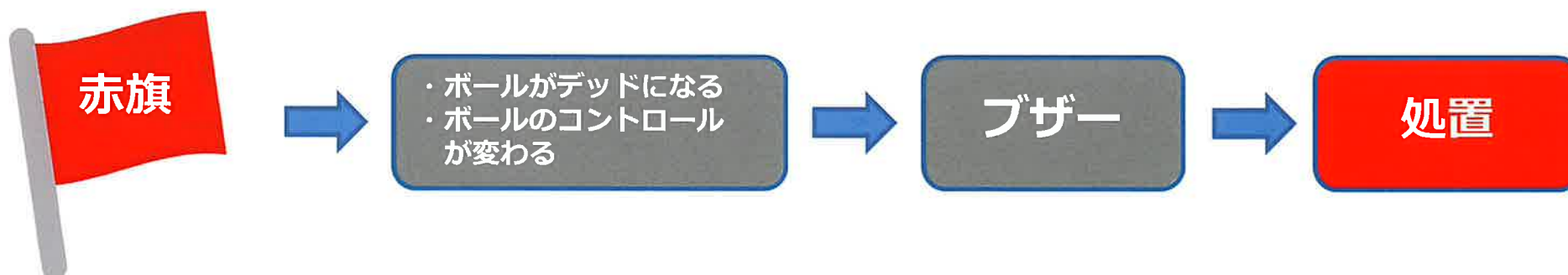
- ① 違反が認められた際は「**黄旗**」を上げます。改善されたら、「黄旗」は下ろします。
 - ② およそ5秒の間に改善されなかった場合は「**赤旗**」を上げます。
 - ③ 「赤旗」が上がったら、次にボールがデッドになったとき、あるいはボールのコントロールが変わったときに、ブザーを鳴らしてゲームを止め、「**警告**」を与えます。
 - ◆ 1回目の警告のあとは、ゲームが止まった時点から再開します。
 - ◆ 2回目以降の警告のあとは、審判から「**マンツーマンペナルティ**」が宣せられ、相手チームに**1本のフリースローとスローイン**が与えられます。
 - ④ コーチに3回のマンツーマンペナルティが記録された場合、当該コーチはベンチから退場となります。
 - ➡ ルールでは「更衣室や建物の外に出る」ことになっていますが、**フロアや観客席以外の試合が見渡せない場所**として、試合終了までロビーやエントランス等で待機していただくこととなります。
- ※マンツーマンペナルティはチームファウルに数えず、インテグリティによるテクニカルファウル等との合算もしません。

本来、止めるべきタイミングで、何らかの理由でブザーが鳴らせない場合は、次にボールがデッドになった際、審判とマンツーマンコミッショナーが協議し、審判が再開方法を判断します。

※詳細は、「マンツーマンディフェンスの基準規則」および関連資料を参照。



赤旗から処置まで



■ 今大会は延長はありません。第4クォーター終了時に同点の場合には引き分けとなります。

■ 赤旗が上がってコントロールが変わった際にブザーを鳴らせなかった場合の対応

※ 何らかの理由でブザーが鳴らせなかった際は、次の通り対応してください。

① ブザーを鳴らすタイミングが遅れた場合

タイミングが遅くなっても、必ずブザーを鳴らしてゲームを止めてください。

※ 遅れないように、TO主任やスコアラーとも事前に確認しておいてください。

② 次のボールデッドまでゲームが止まらなかった場合

ゲームが止まった際にブザーを鳴らして審判を呼び、赤旗が上がっていたがゲームを止められなかったことを説明してください。

本来止めるべきだった時間まで戻すことになるので、その時間を記憶または記録しておき、審判に尋ねられたら答えられるようにしておいてください。

※ 最終的な処置の決定は審判が行います。